

国土技術政策総合研究所コンプライアンス・アドバイザー委員会議事概要
(平成28年度第1回)

○開催日時 : 平成28年6月27日(月) 12時35分～13時50分

○開催場所 : 九段第三合同庁舎 共用会議室

○出席委員

委員長 山口 卓男 弁護士

委員 桑野 玲子 東京大学 生産技術研究所 教授

委員 田中 仁 東北大学 大学院工学研究科教授、副研究科長
(委員は五十音順)

○議事概要

(1) 平成27年度国土技術政策総合研究所コンプライアンス報告書について
【主な質問及び回答】

| | |
|---|---|
| <p>部外研究員もコンプライアンス・ミーティングに参加させたようだが、参加後どのような意見があったのか。</p> | <p>実施結果報告において「コンプライアンスの重要性を再認識した。」等の意見を確実している。ただし、職員や部外研究員等に分けた報告は行っていないため、ご質問のあった意見は把握していない。</p> |
| <p>公務員倫理に関する取組は行っているようだが、研究倫理に対する取組は行っているのか。</p> | <p>11月の外部専門家(弁護士)による講習会は、研究倫理に関するテーマで実施した。</p> |
| <p>国家公務員倫理週間におけるセルフチェックとは、どのようなものなのか。</p> | <p>国家公務員を対象として人事院が作成したもので、職員がパソコンから20個の問題に○×で回答し、その後解説が表示される。事務局で正解率を把握できるため、フォローアップに役立っている。</p> |
| <p>発注者綱紀保持規程に係る報告事例はないとのことだが、職員が不利益を被ることや握り潰されることを恐れて報告しないという懸念はないのか。</p> | <p>発注者綱紀保持規程において、報告を行った職員に対して不利益な取扱いをしてはならないと規定されていることを講習会等で周知徹底している。そのうえで守秘義務を負う弁護士に委嘱し、外部窓口を設置していることも周知している。このような取組によってご指摘のような懸念が生じないよう努めている。</p> |

【各委員からの主な意見】

- 平成27年度の実施状況報告書において内容に問題はなく、コンプライアンスの取組は着実に進んでいると考える。
なお、新たな事態への対応や現在の取組に穴がないのかを常にチェックしていただきたい。